

消化器内科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] HER2 陽性進行再発胃癌に対する一次治療におけるフッ化ピリミジン、プラチナ製剤および Trastuzumab 併用レジメンの有効性に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 小松 嘉人（腫瘍センター・副センター長）

[研究の目的] 胃癌患者に対する化学療法の治療成績向上に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

胃癌の患者さんで、2011 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までの間に、本院消化器内科（旧第三内科）にて一次化学療法としてフッ化ピリミジン、プラチナ系抗癌剤およびトラスツズマブ併用療法を開始した方

○利用するカルテ情報

原発部位、病理組織診断名、年齢、性別、治療歴、Performance Status、検査結果（血液検査、CT 検査）、後治療歴、無増悪生存期間、全生存期間、抗癌剤投与に関する情報（投与開始日・用量、延期・減量情報、増悪確認日または無増悪確認日、治療中止理由）など

[研究実施期間] 実施許可日～2018年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 中野 真太郎

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7867